

建設の機械化

1990.5

No.483



◆巻頭言 建設の機械化あれこれ……………	石上立夫	1
◆社団法人日本建設機械化協会の事業活動		
社団法人日本建設機械化協会定款……………		3
各分会・専門部会・建設機械化研究所の動き……………		5
◆平成2年度官公庁の事業概要(1)		
建設省関係予算の概要……………	正田 寛	19
片福連絡鉄道におけるシールドトンネルの計画		
……………	木村 宏・日浦喜章	25
H&V シールド工法(複断面旋回工法)の実証実験結果		
……………	下村 嘉平衛・園田徹士・萩原英樹 北川 滋樹・中村 稔・野口 隆	31
◆随 想 建設国民感情論		
—ノスタルジーそして3Kのことなど……………	内田 清一	38
動圧密工法の大型機械および自動計測システムの開発		
……………	和田 航一・清水憲治	40
外壁板取付ロボット「マイティハンドLH50」の開発……………	唐沢秀樹	46
◆JCMA 第39回海外建設機械化視察団報告		
International Winter Road Congress '90ほか……………		51
グラビヤ——JCMA 第39回海外建設機械化視察団 International Winter Road Congress '90		
平成元年度 建設機械と施工法シンポジウム……………		55

JCMA

目 次



霞ヶ浦砂利採取見学記	技術部会骨材生産委員会	60
◆新工法紹介		
水ジェット外壁処理工法	調査部会	64
国土式大型自動型枠工法	調査部会	65
◆統 計		
建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会	66
行事一覧		67
編集後記	(加藤・佐藤輝)	70
故坪 質氏追想録にみる建設機械史の一側面 (1)	中野俊次	37, 54

◇表紙写真説明◇

T 650 BD パワーボックス
 製 作 米国・ブケットプロス
 マニュファクチャリング社
 輸入販売元 株式会社 ボー

本機は、小さな機械で大型なみの舗設能力を持ち、
 小回りが利き、路盤材などの敷ならしも可能である。

＜主な仕様＞

舗設能力	
舗設幅	2.7～3.6 m
舗設速度	0～4.0 m/min
ホッパー容量	6.0 t
本 体	
総重量	3.6 t
全 長	2.4 m
全 幅	3.0 m
全 高	1.6 m
スクリーン	
加熱装置	排気ガス式
締固機構	油圧式バイブレータ